

お客様自身で荷造りする場合の梱包方法について

ご自身で荷造りを行う場合は、引越業者の運搬作業が開始される前までに全ての荷造りを終わらせておく必要があります。

引越しに使用する段ボールはお客様ご自身でご用意をお願い致します。

大型家具（ベット・ダイニングテーブル）

自宅から搬出できないような組立式の家具は分解し、部品をひとまとめにしておきます。お引越し先に搬入後はお客様自身で組立いただきます。

※分解・組立をご希望の場合は別途費用が発生致します。

ソファ・椅子

そのままの姿で運搬致します。

食器棚

中の食器を1つずつ梱包し、ダンボールにいれタオル等で動かないように保護します。

タンス

運搬中に引き出しや扉が飛び出さないよう、養生テープなどで固定します。

衣装ケース

タンス同様に養生テープで固定します。プラスチック製の衣装ケースは、特に衝撃に弱いので、毛布・バスタオル等で保護します。

テレビ

バスタオルや毛布でくるんで梱包してください。

ケーブル等はすべて抜いてひとまとめにしておいてください。お引越し後の接続はお客様で行っていただきますので配線の種類や差し込み口が分かるように印をつけておくとう便利です。

小型家電（DVDデッキ・パソコン）

ダンボールに入るものはエアパッキン等で包み、すき間にタオル・新聞紙などを詰め、中で動かないように固定します。

冷蔵庫

引越し前日までにコンセントを抜いて水抜きをしてください。

コードは裏側にテープで固定しておきます。中はすべて空にしておいてください。

洗濯機

冷蔵庫と同様、前日までに水抜きをしてください。

コード・アースは、水気をしっかりと拭き取った洗濯機の中に入れておきます。

石油ストーブ

灯油は完全に抜いてください。

※ お引越し後の梱包資材についてはお客様自身で処分をお願い致します。